年間授業計画

教科：（工業・建築）科目：（工業技術基礎）　対象：（第１学年A組）　教科書：工業技術基礎（実教出版）

教科担当者：（A組：金子　淳一　㊞　・山口　直志　印　・遠藤　悟　㊞　）　３単位

１年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	「工業技術基礎」の具体的な指導目標 （自校のスタンダード） 【年間授業計画】	評価の観点等	予定時数
４月	A 測量 測量の基本 距離測量 平板測量	A　測量についての指導目標 ・実習中の事故防止のための方法を具体的に説明できる。 ・実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。	A　測量 測量の基本を知るとともに、基本的技術を理解する。	9
５月	水準測量 B　造形	・工業技術者は、構造物の設計・施工等に関して関係する法令を遵守していることを理解する。 ・距離、高さ、角度を測定する測量機器の正しい使用方法を理解する。	B　造形 発想を形にする練習を重ねることで建築設計の手法を理解する。	9
６月	透視図法 透視図の着色	・測定値における誤差を理解し、測定値や計算値を適切な有効数値で表現することができる。 ・測定値や計算値を国際単位系に基づいて適切に表現することができる。	C　木工 基本工作法を身につけるとともに、木材の基礎知識と安全対策について理解する。	12
７月		・測量の基礎的な知識を理解し、測量機器の取り扱いや基礎的な測量作業を行うことができる。		3
９月	C　木工 安全教育 木工道具の使用法 木製椅子の製作 ・木取り	B　造形についての指導目標 ・作品を製作するうえで、様々な発想技法を活用することができる。 ・透視図の製作において見る視点の違いによって、作品の内容が異なることを理解する。		12
１０月	・墨付け ・刻み ・組立て ・仕上げ	・建築設計図面を理解し、建築生産や加工に必要な図面を作成することができる。 ・木造住宅の建築に必要な知識と技術を理解する。 ・建築図面を正しく読み取ることができる。		9
１１月	木造平屋建て在来工法の軸組み模型製作 ・縮尺１／３０ ・接合 ・組み立て	C　木工についての指導目標 ・作品を制作するうえで、様々な発想方法を活用することができる。		12
１２月	※　３班にわかれ、３回ローテーションにて実施する。	・実習中の事故防止のための方法を具体的に説明できる。 ・作品を制作するうえで、様々な発想方法を活用することができる。		3
１月		・実習報告書に必要な項目を記入し、期限までに提出することができる。 ・工業技術が地球環境の保全に果たしている役割について、その意義や必要性を理解する。 ・廃棄物の分類を通じて、材料の特徴や再利用の方法を理解する。		9
２月		・手仕上げの基礎的な作業を理解し、加工できる。 ①木材の接合を理解する。 ②加工法から適切な道具、工具、機械を選択できる。 ③求められる制度を満たす木材加工を行うためには、使用する工具の正しい整備と調整方法が重要であることを理解する。		9
３月		・同じ木材でも異なる部位によって強度や耐久性が異なることを理解する。 ・製作した作品の品質を調べる方法を理解する。 ・JISに基づく製図の基礎的な知識を理解する。		3